

住むなら
ひえづ♪

新築住宅建設借入利息助成

Ver. 2019

ヒエツはどこ？



日吉津村では、新築住宅を取得された方に、借入利息の一部助成を行っています。

日吉津村に住むことを考えられておられる方は、是非ご活用ください。



事業内容

当該新築専用住宅購入のために借入した資金の年末残高に係る利息に対し、年間上限額を30万円とし、3年間助成します。

対象者

下記のすべてに該当する方

- 平成27年4月以降に新築の専用住宅を取得した場合。
- 転入または村内住宅から転居して、従前の住所地と隣接しない敷地内に専用住宅を新築した方。
- 債務者（連帯債務者含む）が平成27年4月1日現在で40歳未満の方。
- 床面積50㎡以上の新築の専用住宅の取得であること。
- 税金（住民税）の滞納がないこと。

申請受付期間は、令和2年1月6日（月）～1月31日（金）です。

【お問合せ・申請書提出先】

日吉津村役場総務課協働推進室 （☎0859-27-5954）

〒689-3553 鳥取県西伯郡日吉津村日吉津872-15

受付時間：平日8：30～17：15（年末年始を除く）

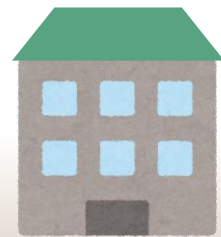
初回交付手続きの流れ



申請者

(注) 申請に必要な添付書類

- ・建物の登記事項証明書の写し
- ・住民票謄本の写し
- ・住宅の購入に係る契約書の写し
- ・金銭消費借入契約書の写し
- ・償還予定表の写し
- ・住宅取得資金に係る借入金の年末残高証明書の写し
- ・納税証明書(住民税)
(証明日が令和2年1月以降の日付の証明書)
- ・振込先の金融機関の口座情報
(通帳の写し(銀行名、支店名、口座番号、
口座名義人が分かるページをコピーしてください))



役場

R2.
1月末
まで

①申請書の提出 受付：1月6日～1月31日

申請に必要な添付書類(注)

②
審査

R2.
2月末
ごろ

③交付決定通知

交付決定通知書・請求書(様式
第6号)を送付します。

R2.
3月末
まで

④請求書の提出 期限：3月末まで(予定)

請求書(様式第6号)の提出

R2.
4月末
ごろ

⑤助成金の支払い 役場登録口座に振り込みます

よくある質問

Q：連帯債務の場合、申請者名は誰にしたらいいですか？

A：助成金を受け取る**口座を登録する方を代表者**として申請をお願いします。

※持分等で按分をして助成金を振込むことはできません。ご了承ください。

Q：助成金の計算方法を教えてください。

A：年末残高証明書の記載額に、金銭消費借入契約書に記載のある、利率を乗じた額が助成額となります。

【例】 年末残高 利率率
3,000万円×0.9%=27万円
※乗じた額が30万円を超える場合は、30万円を上限とします。

【役場からのお知らせ】

- ・H31年1月1日時点での居住地から納税証明書を取得してください。
- ・提出は1月末必着です。添付書類が整わない場合は申請を受理できません。
- ・2年目以降も毎年申請が必要です。「年末残高証明書」は年末調整に添付する前に1部コピーすることをおススメします。

様式第1号（第6条関係）

令和2年1月 日

日吉津村長 様

申請者（代表申請者）

郵便番号 689-355

現住所 日吉津村大字

氏名

印

電話番号

日吉津村新築住宅建設借入利息助成金交付申請書

日吉津村新築住宅建設借入利息助成金の交付を受けたいので、日吉津村新築住宅建設借入利息助成金交付要綱第6条の規定に基づき申請します。

記

新住宅債務

借入先	<input type="checkbox"/> 住宅金融公庫		
	<input type="checkbox"/> 民間金融機関	民間金融機関の名称	
借入日	年 月 日		
金利種別	変動金利()年 ・ 固定金利()年		
契約利率…①	%	第1回返済日	年 月 日
借入額…② (年末残高証明書 記載額)	円	借入額 (住宅建設分)	円
		借入額 (土地購入分)	円
		受給済利子補給額 (1年目助成済額)	円
利子総額 (①×②)	円	受給済利子補給額 (2年目助成済額)	円
補助対象額	円		
返済期間	年 月 日 から 年 月 日 まで		

日吉津村長 様

申請者(代表申請者)

郵便番号 689-355

現住所 日吉津村大字

氏名

電話番号

申請する方の

①郵便番号

②住所

③氏名

④電話番号

を記入してください。

※連帯債務等の場合は、助成金を受取る口座名義人の方を申請者としてください。

日吉津村新築住宅建設借入利息助成金交付申請書

日吉津村新築住宅建設借入利息助成金の交付を受けたいので、日吉津村新築住宅建設借入利息助成金交付要綱第6条の規定に基づき申請します。

記

新住宅債務

【金銭消費貸借契約書より転記】

- ①借入した金融機関名を記載
- ③金利種別を記載
- ⑤⑨契約書にある「第1回目の返済日」と「返済の最終日」を記載

①借入先	<input type="checkbox"/> 住宅金融公庫	民間金融機関の名称	
	<input type="checkbox"/> 民間金融機関		
②借入日	年 月 日		
③金利種別	変動金利()年 ・ 固定金利()年		
契約利率…④	%	⑤第1回返済日	年 月 日
⑥借入額…② (年末残高証明書記載額)	借入額 (住宅建設分)	円	⑦
	借入額 (土地購入分)	円	
	受給済利子補給額 (1年目助成済額)	円	
⑧利子総額 (①×②)	円	受給済利子補給額 (2年目助成済額)	円
補助対象額	記載不要		円
⑨返済期間	年 月 日 から 年 月 日 まで		

【登記事項全部証明書より転記】

- 権利部(乙区)の「権利者その他の事項」の欄を確認してください
- ②「原因 年●月●日金銭…」の部分の年月日を記載
- ④「利息 年●%」の部分に記載(ただし書き以降は記載不要)
- ⑦「債権額 金●万 円」の部分に記載(住宅、土地購入分を分けて記載することができない場合は、全額住宅分として記載してください)

【年末残高証明書より転記】

- ⑥証明書に記載の金額を転記
- ⑧年末残高に契約利率を乗じた金額を記載。
※円未満切り捨て

★提出書類チェック★

申請書

建物の登記事項全部証明書の写し

※1 抵当権設定後の証明書

住民票謄本の写し

住宅の購入に係る契約書の写し

金銭消費借入契約書の写し

償還予定表の写し

住宅取得資金に係る借入金の年末残高証明書の写し

納税証明書(住民税)

※2 証明日が令和2年1月以降の日付の証明書

振込先の金融機関の口座情報

※3 通帳の写し(銀行名、支店名、口座番号、口座名義人が分かるページの写し)